

TSY MANINONA

JOURNAL SUR MADAGASCAR



木川 莉江 KIGAWA RIE

JICA青年海外協力隊として
マダガスカルのアンブイマナンブラで活動中
大塚製菓株式会社より現職参加
(2021-3次隊/コミュニティ開発)

農業祭 FOIRE Ambohimambola

市役所職員の主催により、任地で初めての農業祭（FOIRE）が開催されました。任地には農耕地がとても多く、住民の約80%は農家さんです。「市の経済的・社会文化的発展に主要な農業分野を促進すること」を目的として開催され、私も生活改善チームと共にスタンドを設けました。

スタンドでは、生活改善本の設置と解説、食品販売（キャッサバの葉のケーキ、きな粉クッキー、わらび餅）、改良かまど・泥炭の作り方の紹介、そして初の泥炭販売を行いました。

生活改善については、生活改善本を多くの方に読んでいただくことができ、食品も全て完売し約2万Ar（約649円）の売り上げがありました。日本食はマダガスカル人のお口に合うようで、すごく喜んでいただけました。（特にきな粉クッキーが大人気でした！）

改良かまどについても、大変多くの方が興味を示し、作り方を紹介することができました。また今回は展示用だけでしたが「購入したい」とのお声も頂き、次回以降は販売用も用意しても良いと思いました。

また、今回のスタンドで一番嬉しかったことは、泥炭を75個すべて完売できたことです。原価がほぼ0Arの泥炭。女性グループは30分で作った泥炭により2500Ar（約81円）の収入を得ることができました。また、後日購入者から「使用してとてもよかった。使い続けたい。」との声もあり、次回からはもう少しだけ値段を上げて、継続して販売しようという話になりました。今回の販売が女性グループの自信に少しでも繋がっていればとても嬉しく思います。

野菜やお米を持ち込み販売していた農家さんをはじめとし、ミミズを用いて作ったたい肥を販売していた団体、トイレトーパー等の販売に加えて環境保護に取り組んでいた会社、それぞれが様々な形で各ブースを盛り上げていました。多くの人や団体との出会いもあり素敵な農業祭を開催してくれた市役所職員に感謝です。





“

Matsiro

「おいしい」という意味
日本と同じでお米が主食のマダガスカル
味付けもそこまでかけ離れていません
お肉とクタクタに煮込まれた豆料理が絶品◎
マダガスカル料理、Matsiroです



ACTIVITÉS D'AMÉLIORATION DE L'HYGIÈNE

お菓子の袋をリサイクルしている先生達との出会い

衛生改善活動をしている中で、幼稚園の先生等との出会いがありました。彼女達は、幼稚園で大量に出るお菓子のゴミ袋を利用した「かばん・ポーチ」の作成をしています。本業の給料では生活費が不十分のため、先生達の収入向上にもつながっています。

口コミを通して製品が広がっている状況であり、広報活動を行っていないため、今後は商品へのタグ付けやチラシ作成、Facebook等の支援を行いたいと考えています。

袋にゴミを沢山集めると参加できるサッカー大会を開催

市役所職員と共に、任地で初めての試みである「袋にゴミを沢山集めると参加できるサッカー大会」を開催しました。マダガスカルでは、街の衛生管理がなされておらず、ゴミの不法投棄が日常茶飯事です。そのため、サッカー大会を契機に、ゴミ拾いの学習機会をつくりました。マダガスカル人はサッカーが好きのため、子供たちが沢山集まりました。この活動は、子供たちにとって衛生について考える良いきっかけになったと感じるため、今後もこのような活動を続けていきたいと思ひます。